

補正予算の内訳

(企画総務局)

事業名	事業費	説明	明
情報化の推進	2,880万円	⑧ 電子申請汎用受付システムの整備 1,200万円 市民等の利便性の向上を図るとともに、行政運営の高度化・効率化や事務改善を推進するため、各種申請・届出等がインターネットにより電子的に行えるシステムを整備する。 (スケジュール) 14年度 基本計画 15年度 基本設計等 16年度 詳細設計・プログラム開発 17年度 運用開始	
	財源内訳 〔一般財源 2,880万円〕	⑨ 文書管理システムの整備 1,680万円 事務処理の一層の合理化と情報管理の徹底を図るため、既に整備済の庁内LANを活用し、収受、起案から決裁、保存、廃棄といった文書のライフサイクルすべてに対応できるシステムを整備する。 (スケジュール) 15年度 基本方針検討、基本設計 16年度 詳細設計・プログラム開発 17年度 運用開始	

事業名	事業費	説明
⑧ 科学技術政策の推進	493万1千円 財源内訳 〔一般財源 493万1千円〕	科学技術顧問会議の設置 132万9千円 本市の科学技術政策への取組みに対する意見を聴取し、今後の施策に反映させる。 科学技術民生委員の調査・研究 108万2千円 市民と科学技術との仲介役として導入を検討している科学技術民生委員の役割や具体的な事業展開等について、研究を行うとともに、モデル事業を実施し、その効果を検証する。 市民会議の開催 174万6千円 市民生活に大きな影響を及ぼす科学技術の使い方について、市民の意見をまとめ、今後の施策に反映させる。 科学技術の利用に関する指標の調査・研究 43万7千円 科学技術が「真に人間的な目的」に利用されているかを測る指標の設定に向け、先進事例調査等を行う。 科学技術に関する情報収集 33万7千円

事業名	事業費	説明
⑧ 旧日本銀行広島支店の保存活用	242万1千円 財源内訳 〔 一般財源 242万1千円 〕	市民による企画運営委員会を設置し、運営方法を検討するとともに、施設改修の基本計画を策定する。 （スケジュール） 13 年 度 検討委員会での検討、検討報告の公表 14 年 度 保存活用方策の具体化の検討 15 年 度 市民による企画運営委員会の設置、運営方法の検討、施設改修の基本計画策定 16年度以降 必要な設計、改修工事、供用
⑨ ビジターズ倍増に向けた行動計画の策定	232万8千円 財源内訳 〔 一般財源 232万8千円 〕	ビジターズ（市民を含む様々なタイプの来訪者）の倍増に向けて、ビジターズの視点に立った魅力的な施設整備や環境の整備、サービスの提供などに関する具体的な行動計画を策定する。
⑩ 都心活性化施策に係る調査・研究	38万5千円 財源内訳 〔 一般財源 38万5千円 〕	都心活性化に関する効果的な施策や事業の進め方等について、専門家の意見を聴取しながら、調査・研究を行う。

事業名	事業費	説明
⑨ 公共事業見直し委員会の設置	550万円 財源内訳 〔 一般財源 550万円 〕	公共事業見直し委員会を設置し、外部の専門的、客観的視点から、将来にわたる公共事業のあり方及びその見直し方法について検討するとともに、大規模プロジェクトを中心とした公共事業について再検証を行い、本市の公共事業の見直しに反映させる。
⑨ 新実施計画の策定	530万9千円 財源内訳 〔 一般財源 530万9千円 〕	16～19年度を計画期間とする新実施計画を策定し、具体的な施策展開を図るとともに、主要事業等を周知する。
合併の推進	500万円 財源内訳 〔 県補助金 250万円 一般財源 250万円 〕	⑨ 広島市・府中町合併に係る法定協議会の設置 本市と府中町との合併に係る法定の協議会を設置し、合併後の建設計画の策定や両市町の事務事業の調整方針の決定等を行う。

(財 政 局)

事業名	事業費	説明						
⑧ 電子調達システムの整備	1,600万2千円 財源内訳 〔 一般財源 〕 1,600万2千円	入札手続の透明性の確保や公正な競争を促進し、調達事務の効率化・迅速化を図るため、工事や物品等を対象に、電子調達システムを整備する。 電子入札コアシステム購入その他 (スケジュール) 14 年 度 基本設計 <table><tr><td>15～16年度</td><td>詳細設計、システム開発等</td></tr></table> 17 年 度 運用開始 (債務負担行為) 詳細設計、システム開発 <table><tr><td>限度額</td><td>期間</td></tr><tr><td>3億2,100万円</td><td>16 年 度</td></tr></table>	15～16年度	詳細設計、システム開発等	限度額	期間	3億2,100万円	16 年 度
15～16年度	詳細設計、システム開発等							
限度額	期間							
3億2,100万円	16 年 度							

(市 民 局)

事 業 名	事 業 費	説 明
世界平和の創造への貢献	242万7千円 財源内訳 〔 一般財源 242万7千円 〕	⑨ 平和記念施設保存・整備方針の策定 109万8千円 被爆60周年に向けて、原爆ドームをはじめとする平和記念施設の長期的な整備・保存のあり方を検討するため、国内外の有識者や市民等から意見聴取などを行う。 ⑨ 平和記念資料館更新計画の策定 132万9千円 資料館整備に係る基礎調査及び展示等の更新整備に係る意見聴取を行う。
人権意識の高揚と差別のない社会の実現	1,789万9千円 財源内訳 〔 一般財源 1,789万9千円 〕	⑩ 東地域交流センター（仮称）の整備（東隣保館の建替） 実施設計等 (スケジュール) 13年度 敷地調査 14年度 地質調査、基本設計 15年度 実施設計 16年度以降 建設工事

事業名	事業費	説明
男女共同参画社会の形成	256万4千円 財源内訳 〔国庫委託金 180万円〕 〔一般財源 76万4千円〕	男女共同参画啓発・市民協働事業の推進 ⑨ 男女平等教育副読本（中学生用）の作成検討委員会の設置 18万4千円 ⑨ 企業向け啓発プログラムの作成 48万8千円 ⑨ 男女共同参画啓発・情報冊子の作成 181万6千円 ⑨ DV（夫・パートナーからの暴力）関係機関連絡会議の設置 2万7千円 ⑨ 男女共同参画推進のための連携協力会議の設置 4万9千円
豊かな文化環境の創造	193万7千円 財源内訳 〔一般財源 193万7千円〕	⑨ 「広島市文化アドバイザー会議」の設置 79万円 広島と関わりがあり、世界的に活躍している芸術家等から、市の文化行政全般について、幅広く助言をいただく。 ⑨ 名誉市民による講演会の開催 114万7千円

(社 会 局)

事業名	事業費	説明									
障害者福祉の充実 (1)保健・医療の充実 (2)社会参加の促進	228万1千円 28万1千円 財源内訳 〔 一般財源 28万1千円 〕 200万円 財源内訳 〔 国庫補助金 100万円 〕 〔 一般財源 100万円 〕	⑧ 総合リハビリテーションセンター整備 ・運営手法の検討調査 整備・運営に関する適切な事業計画を策定するための調査を行う。 整備場所 安佐南区伴南一丁目 (西風新都梶毛東住宅地区) 整備内容 身体障害者更生相談所、リハビリテーション専門病院、身体障害者更生施設 ⑨ 身体障害者補助犬の育成貸与 身体障害者に対し、身体障害者補助犬を育成・貸与することにより、身体障害者の自立と社会参加を促進する。									
児童福祉の充実	2,060万円 財源内訳 〔 国庫補助金 28万5千円 〕 〔 一般財源 2,031万5千円 〕	⑧ 乳幼児医療費補助 1,974万3千円 対象年齢の拡大 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>現 行</th><th>改 正</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td><td>4歳児まで</td><td>小学校就学前の6歳児まで</td></tr> <tr> <td>外来</td><td>3歳児まで</td><td>(現行どおり)</td></tr> </tbody> </table> 実施時期 15年10月	区分	現 行	改 正	入院	4歳児まで	小学校就学前の6歳児まで	外来	3歳児まで	(現行どおり)
区分	現 行	改 正									
入院	4歳児まで	小学校就学前の6歳児まで									
外来	3歳児まで	(現行どおり)									

事業名	事業費	説明
		⑧ 里親支援 85万7千円 被虐待児を家庭に引き取り、家庭的な環境で養育する専門里親の養成等を行う。
ひとり親家庭福祉の充実	27万9千円 財源内訳 〔 国庫補助金 13万9千円 〕 〔 一般財源 14万円 〕	⑧ 母子家庭等就業支援 母子家庭の母及び寡婦を対象に、就労に関する知識の習得を目的としてセミナーを実施し、情報提供を行う。
⑧ 未成年者の禁酒・禁煙のための環境づくり推進	14万8千円 財源内訳 〔 一般財源 14万8千円 〕	未成年者の禁酒・禁煙に向けた環境づくりを推進するため、先進事例の調査を行う。

(環 境 局)

事 業 名	事 業 費	説 明
⑨ ばい捨て等防止の推進	3,353万2千円 財源内訳 〔 県補助金 1,508万9千円 一般財源 1,844万3千円 〕	ばい捨て行為やごみの散乱の問題が依然として解消できていない現状を踏まえ、条例制定を始めとしたばい捨て等防止のための各種施策を実施する。 条例制定に伴う市民 P R 605万1千円 美化推進区域等の指定 1,095万円 ばい捨て等防止の指導 1,508万9千円 アダプト制度の導入 144万2千円

(経 済 局)

事 業 名	事 業 費	説 明
観 光 の 振 興	140万円 財源内訳 〔一般財源 140万円〕	⑨ 広島「食の特産品」ブランド化推進事業 「お好み焼き」を始め広島を代表する「食の特産品」を、全国的に知名度を持つブランドとするための取組みを進めることにより、広島の魅力の全国発信を行う。
⑨ も り 「広島市森林づくりプラン21」の策定	275万9千円 財源内訳 〔一般財源 275万9千円〕	森林の持つ公益性・多様な機能に対応した整備の方向性や循環資源としての活用・保全に係るプランを策定する。

(都市計画局)

事業名	事業費	説明
⑨ 市民ボランティアによる 違反広告物の除却	125万円 財源内訳 〔 一般財源 125万円 〕	違反広告物の除却について、新たに市民との協働による制度を創設し、市長が推進員として任命した市民ボランティアにより、道路上のはり紙、立看板等の迅速な除却を行う。
⑨ 空家住宅実態調査	150万円 財源内訳 〔 一般財源 150万円 〕	空家の状況を調査し、住宅対策など今後の都市政策を考える上での基礎資料とする。

(都市整備局)

事業名	事業費	説明
港湾整備	529万5千円 財源内訳 (一般財源 529万5千円)	⑨ 宇品の魅力ある港空間づくり調査 既存倉庫を活用した賑わいづくり の計画策定等 宇品外貿・中央地区

(道路交通局)

事業名	事業費	説明	明
新 有料道路を活用した渋滞対策の社会実験	6,400万円 財源内訳 国庫補助金 3,200万円 一般財源 3,200万円	有料道路の通行料金を割引くことによる渋滞緩和の効果等を検証するため、社会実験を実施する。 対象路線 山陽自動車道（廿日市IC～志和IC間）、広島高速1号線、広島高速4号線、草津沼田有料道路 割引料金 概ね半額（草津沼田有料道路は無料） 実験期間 概ね3ヶ月間、朝ピーク時	
新 可部駅西口広場の整備	1億3,300万円 財源内訳 市債 1億2,600万円 一般財源 700万円	駅前広場整備 用地取得 (スケジュール) 15年度 用地取得 16年度 広場整備工事、駐輪場整備等	
都市計画街路整備	1,450万円 財源内訳 一般財源 1,450万円	新 己斐中央線 地形・路線測量等	

事業名	事業費	説明
⑨ 広島高速交通株式会社の経営健全化	205億3,342万5千円 財源内訳 [貸付金元利収入] 205億3,342万5千円	広島高速交通株式会社が抜本的経営改善策として実施する、日本政策投資銀行からの借入金の繰上償還に対する支援措置 広島高速交通株式会社への単年度無利子貸付金 貸付額 205億3,342万5千円 本市からの単年度貸付金償還のため年度末に広島高速交通株式会社が行う金融機関からの短期借入れに対する損失補償 (債務負担行為の設定) 限度額 205億3,342万5千円、利息 期 間 15年度～16年度

(消 防 局)

事業名	事業費	説明
災害に強いまちづくりの推進	53万6千円 財源内訳 〔一般財源 53万6千円〕	④災害に強いまちづくりプランの改訂 現行プランのうち、15年度が最終年度となる実施計画について、16～19年度に実施する事業の検討を行い、現行プランの改訂版を策定する。
消防庁舎の整備	400万円 財源内訳 〔一般財源 400万円〕	⑤南消防署宇品出張所建替 地質調査 (スケジュール) 15年度地質調査 16年度基本・実施設計 17～18年度建設工事

(病院事業局)

事業名	事業費	説明
広島市民病院	2億2,286万8千円 財源内訳 [医業外収益 1億円 自己財源 1億2,286万8千円]	⑨ 市立病院総合情報システムの構築 1,400万円 電子カルテ等を導入するための仕様書の作成を行う。 (スケジュール) 14 年 度 基本構想策定 15 年 度 仕様書作成 16～18年度 開発・訓練、機器整備 医療過誤に係る損害賠償金 2億886万8千円 債権者 4 名
安佐市民病院	2,100万4千円 財源内訳 [医業収益 441万1千円 一般会計負担金 259万3千円 自己財源 1,400万円]	⑨ 市立病院総合情報システムの構築 1,400万円 電子カルテ等を導入するための仕様書の作成を行う。 (スケジュール) 14 年 度 基本構想策定 15 年 度 仕様書作成 16～17年度 開発・訓練、機器整備

事業名	事業費	説明
		⑨ 小児救急医療体制の充実 700万4千円 小児救急医療体制の充実を図るため、日曜日の準夜帯に小児科外来診療を行う。 実施時期 15年8月 診療科目 小児科外来 診療日時 日曜日の18時から23時 診療体制 2診察

(教育委員会)

事業名	事業費	説明
中学校整備	2,389万5千円 財源内訳 〔一般財源 2,389万5千円〕	⑧校内LAN整備 59校 実施設計
高等学校整備	50万円 財源内訳 〔一般財源 50万円〕	⑨新しいタイプの高校の整備 現在の市立定時制高校2校を統合し、多部制・単位制を導入した新しいタイプの高校を整備するにあたり、教育内容・施設規模等に関する基本構想を検討する。
新しい教育の推進	4,152万8千円 財源内訳 〔国庫委託金 168万1千円 雑入 4万3千円 一般財源 3,980万4千円〕	⑨小学校少人数指導 3,896万3千円 基礎学力の確実な定着及び個に応じたきめ細かな指導の充実を図るため、3年生の算数科を対象に1学級平均が35人を超える学校に対して非常勤講師を配置する。 ⑧高・大連携の推進 88万4千円 市立高校と市立大学等の関係者で構成する協議会を設置するとともに、市立高校生を対象に高大連携講座を実施する。 ⑨教員の評価に関する実践研究 168万1千円 文部科学省から委嘱を受け、教員の評価システムの改善に関する実践的な調査研究を行うため、研究会議等を開催する。

事業名	事業費	説明
多様化する学校教育への対応	221万3千円 財源内訳 〔一般財源 221万3千円〕	⑨ 通学区域の弾力的運用の検討 76万円 学識経験者等で構成する検討会議を設置し、個性を伸ばし多様な選択ができる通学区域制度の在り方について検討を行う。 ⑨ 特別支援教育推進モデル事業 125万円 通常学級に在籍する学習障害児や多動性障害児等に対して適切な指導を行うための体制整備を図るため、専門家チームによる巡回相談指導をモデル事業として実施する。 ⑨ メンター制度の導入に係る検討 20万3千円 メンター制度（人生経験の豊かな大人（メンター）が子どもと1対1の関係で、継続的・定期的に交流し、子どもを支援する制度）の導入に向けて、効果的・効率的な活用やボランティア等の人材の確保について情報収集等を行い、総合的・多角的な観点から検討を行う。
青少年の育成・成長支援	457万円 財源内訳 〔一般財源 457万円〕	⑨ 「広島発 電子メディアと子どもたち」による健全育成 161万2千円 「電子メディアと子どもたち」に関するシンポジウムを開催するとともに、青少年問題協議会において調査研究等を行う。

事業名	事業費	説明
		暴走族対策の総合的な推進 295万8千円 ⑨新 暴走族追放カードの制作・配布 81万7千円 暴走族加入防止・離脱相談センターの連絡先等が記載された暴走族追放・防止カードを児童生徒等に配布し、暴走族への加入防止・離脱の促進を図る。 ⑨新 暴走族加入防止ビデオの配布 62万8千円 県警が制作した暴走族加入防止ビデオのダビングテープを学校等に配布し、暴走族への加入防止を図る。 ⑨新 県外就職支援促進に係る他都市調査 17万6千円 暴走族少年等の就職支援を促進するため、他都市の暴走族少年等の就職支援団体を調査する。 ⑨新 周辺市町等との協力体制づくり 10万円 周辺市町を活動の拠点としている暴走族の離脱の促進を図るため、周辺9市町等との協力体制づくりを推進する。

事業名	事業費	説明	明
		⑨新 暴走族少年等自立のための校内支援 93万7千円 暴走族に加入又は加入しようとしている生徒に対して、校内での居場所づくりと自立を図るため、「少年自立サポート員」を学校に派遣し、相談・指導を行う。 ⑨新 暴走族少年等の居場所づくり支援 30万円 暴走族少年等の居場所づくりを支援するため、現在、自立支援を行っている団体の実態等を基に、新たな団体結成に向けたアクションハンドブックの作成等を行う。	
生涯学習の推進	390万3千円 財源内訳 〔 県補助金 304万円 雑入 4万8千円 一般財源 81万5千円 〕	⑨新 新たなe - ラーニングの導入検討 9万5千円 情報化の進展に対応した新たな生涯学習支援方策を構築するため、e - ラーニング（インターネットを利用した遠隔学習）を活用した新たな学習機会の提供方策について調査研究を行う。 ⑨拡 子育て学習の推進 304万円 公民館において、子育て講座を開催し、家庭教育の支援を行う。 ⑨新 学校施設開放地域生涯学習推進モデル事業 76万8千円 市民の生涯学習の振興を図るとともに、学校教育と社会教育の連携・融合を図るため、学校施設を活用し、特別教室等の開放を試行的に実施する。	